

速報 平成 31 年 冬の新沢橋現況報告

——新沢橋立入り厳禁、新沢橋周辺情報——

新沢橋の穴ポコ状況（床版の一部抜け落ち）については、さきに当HPにおいて報告し、立ち入らないようお願いしたところである。

「新沢橋一部崩壊 緊急警告」（平成 30 年 11 月 23 日、当大滝会 HP）

<https://ootaki.xsrv.jp/sinzawabasi.html>

そこで一番懸念されたのは冬期積雪時の状況で、穴ポコが雪に埋もれて見えなくなってしまうことが危惧されていた。今回（平成 31 年 1 月 14 日）その状況を確認するべく現地を視察してきたところ、案の定懸念されたように穴ポコは、積雪により全く分からなくなっていた。従って、冬期間に新沢橋へ立ち入ることのないよう改めてお願いしたい。

以下、新沢橋の状況及び周辺の状況について報告するものである。

冬期積雪時の新沢橋穴ポコ状況

新沢橋周辺の積雪は 1m 近くあり新沢橋表面の状況は全く分からなくなっている。昨秋（平成 30 年 11 月）の写真と対比してみる。

（写真－1①～2③、参考写真－1①～2③）



写真－1① 3代目新沢橋（「昭和の大改修」S11.12 完、L=42m、w=6m）。米沢側（右岸）から福島側（左岸）を望む。



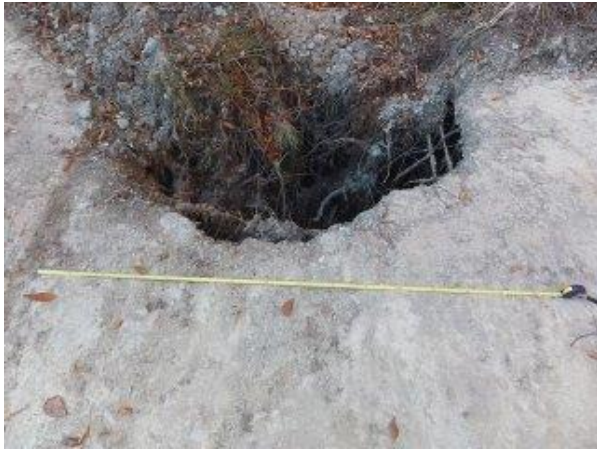
参考写真－1① 新沢橋を米沢側（右岸）から望む。



写真－1② 新沢橋を米沢側（右岸）から望む。穴ポコは見えない。



参考写真－1② 新沢橋、米沢側から望む。
H301103



参考写真-1③ 新沢橋穴ポコ全景。直径 1.3m
H301103



写真-2① 新沢橋を福島側(左岸)から望む。



参考写真-2① 新沢橋を福島側(左岸)から望む。



写真-2② 新沢橋を福島側(左岸)から望む。
穴ポコ位置確認できず。



参考写真-2② 新沢橋上流側中央部付近に穴。
福島側(新沢左岸)から望む。
H301103



写真-2③ 新沢左岸(福島側)上流側から望む。



写真-2③ 新沢左岸(福島側)上流側から望む。

※ 新沢橋は、昭和11年(1936年)12月完成で80年以上経過しており老朽化が進んでいる。今回中央付近の上流側のコンクリート床版(車や人が通る所)が経年劣化でその一部が抜け落ち直径1.3メートルほどの穴が生じていて落ちた場合は40メートル近い川底に転落する危険がある。詳しい点検はしていないが、その穴ポコの周辺或いは他の所でも今後抜け落ちる可能性があると考えられる。

新沢橋周辺状況(参考情報)

冬期積雪時の新沢橋周辺の状況について参考までに報告する。新沢橋の冬期立ち入りをされないための情報である(必要であればこれらの写真を自由にお使いください)。この新沢橋は昭和の大改修で新設された鉄筋コンクリートアーチ橋で3代目である(工事期間:S10.4~S11.12、L=42m・W=6m)。(写真-3①②)



写真-3① 3代目新沢橋。
新沢右岸(米沢側)下流側から望む。



写真-3② 3代目新沢橋。
新沢左岸(福島側)下流側から望む。

現国道13号(二ツ小屋駐車帯道路向い)からは取付坂路があり2~3分程度で旧国道13号(旧5号)に出る。昭和の大改修(工事期間:S8.4~S12.3、L=14.4km)で新設された所で、左側を行けば米沢へ、右側を行くと福島である。その右側にはすぐに森元巡査殉職碑(殉職警察官之碑)

があり新沢橋がある。

※森元巡查殉職碑（殉職警察官之碑）について興味のある方は下記を参照して下さい（当大滝会 HP）。

<https://ootaki.xsrv.jp/morimotohi.html>

（写真-4①～③）



写真-4① 旧国道 13 号。
「昭和の大改修」昭和の七曲
第 1 段目道路、米沢側を望む。



写真-4② 旧国道 13 号。
「昭和の大改修」昭和の七曲
第 1 段目道路、福島側・新沢橋
（殉職警察官之碑）を望む。



写真-4③ 雪に埋もれた殉職警察官之碑
（森元源吾巡查殉職碑・明治 21 年
（1888 年）1 月 5 日遭難）。
昭和 61 年 12 月移転。

新沢橋を渡ると左側には、新沢左岸沿いに初代明治期万世大路が残存している。数十メートル進むと滑沢があり旧滝橋の遺構（橋台）があって、その先には 2 代目新沢橋の遺構（橋台・橋脚：コンクリート製）がある。この 2 代目は大正末～昭和初期に初代木橋の新沢橋を掛け換えたと考えられる。三代目新沢橋から約 200m 上流に 2 代目新沢橋跡（L=20m、木橋土橋）がある。

（写真-5①～③）



写真-5① 明治期初代万世大路を新沢橋
(福島側)付近から新沢左岸
上流側を望む。



写真-5② 滑沢



写真-5③ 旧滝橋 橋台遺構(L=10.9m、w=6.4m、
米沢側橋台)

反対に新沢橋を右側に進むとこの区間は、昭和の大改修により明治期初代万世大路を拡幅した区間で、100mほど進むと現国道13号にぶつかって左に曲がり13号沿いに東下するがすぐに途切れる。現国道13号工事で旧道が失われたのである。その曲がり角付近が「昭和の大改修」起点と思われる。(写真-6)



写真-6 「昭和の大改修」起点付近を新沢橋
(福島側)から望む。

(報告者：万世大路研究会鹿摩貞男 (大滝会特別会員))

本稿の編集にあたっては大滝会 HP 管理人紺野文英様にいつものようにお世話になりました。衷心より御礼申し上げます。

— 終 —